

先進自治体に学ぶ

多摩市議会では、委員会として会派の枠を越えて調提案を行うため、各地の先進的な取り組みについて視察
ここでは、令和6年の秋に行った視察の要旨をお伝

災害時・平常時でのドローンの思い切った活用、LINE登録者を増やし、そこを入口にしたデジタルサービス展開の工夫

総務常任委員会

市自前のドローン飛行隊「RED GOBLINS」の活用 愛知県豊橋市

ドローン飛行隊結成のきっかけと体制

「鬼怒川堤防決壊」(2015年)の際、市職員が被災状況を広域的に把握するには、ドローンによる上空からの状況確認が有効と実感し、ドローン導入の検討を開始。2017年7月、市が自前で機体を購入し運営するドローン飛行隊「RED GOBLINS」が発足しました。現在、3班31名体制、事務局は防災危機管理職員で担い、各部署から派遣された隊員が運用時に集まって活動しています。

発災時の状況把握、また平時には松くい虫被害把握にも活用

災害時の活用想定としては、発災時に隊員がドローンを操作して被災地から状況をリアルタイムで災害対策本部に送り、併せて市の各局や近隣自治体とも共有します。応急復旧期には、上空から撮影した写真をもとに被災状況を確認し、その後の体制を整える重要な判断材料としたいとのことでした。

また平常時では、毎週月・水曜日に隊員の定期訓練日を

設け、さらにたとえば公園緑地課からの依頼で松くい虫被害の状況把握での活用なども行っています。

多摩市は、豊橋市と違い、全城市街化区域でドローン飛行には大きな制限がありますが、業者委託での運用も始めているところであり、この視察の成果も活かしていければと思いました。



LINEを活用した行政サービスのデジタル化 愛知県西尾市

市公式LINE登録者数が14万人以上！(登録率県内1位)

西尾市は、LINE公式アカウントの運用開始(2020年8月)から、わずか4年で友だち登録者数が141,880人(2024年10月23日現在)に達し、登録率は愛知県内第1位です。ここまで登録者数を伸ばすために、市内小・中学校、保育園・幼稚園の全児童・生徒にチラシを配布し、二次元コードの活用での登録を促したほか、成人式記念のLINE無料スタンプ配信、LINEを窓口とした新型コロナワクチン接種のオンライン予約申請、デジタルクーポン配布などの取り組みを行っています。この登録者数を伸ばすための独自の努力は、たいへん参考になります。

LINEを窓口にしたさまざまなデジタルサービスを展開

さらに、登録者数を伸ばしたLINEを活用して、まずLINEと電子申請システムとの連携で、市のLINE公式アカウントからワンクリックで申請画面にアクセスできるようにしました。これによって、煩雑な利用者登録手続きをすることなくオンライン申請が可能になります。心配される

個人情報の取扱いは、電子申請システム内で行うので安全性が保たれるという利点があり、その他にオンライン決済の追加等のメリットがあります。

